

令和4年度（令和3年度実施）
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査
 筆記審査（専門教養）
 中学校 高等学校 特別支援学校 中学部 高等部
 保健体育

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

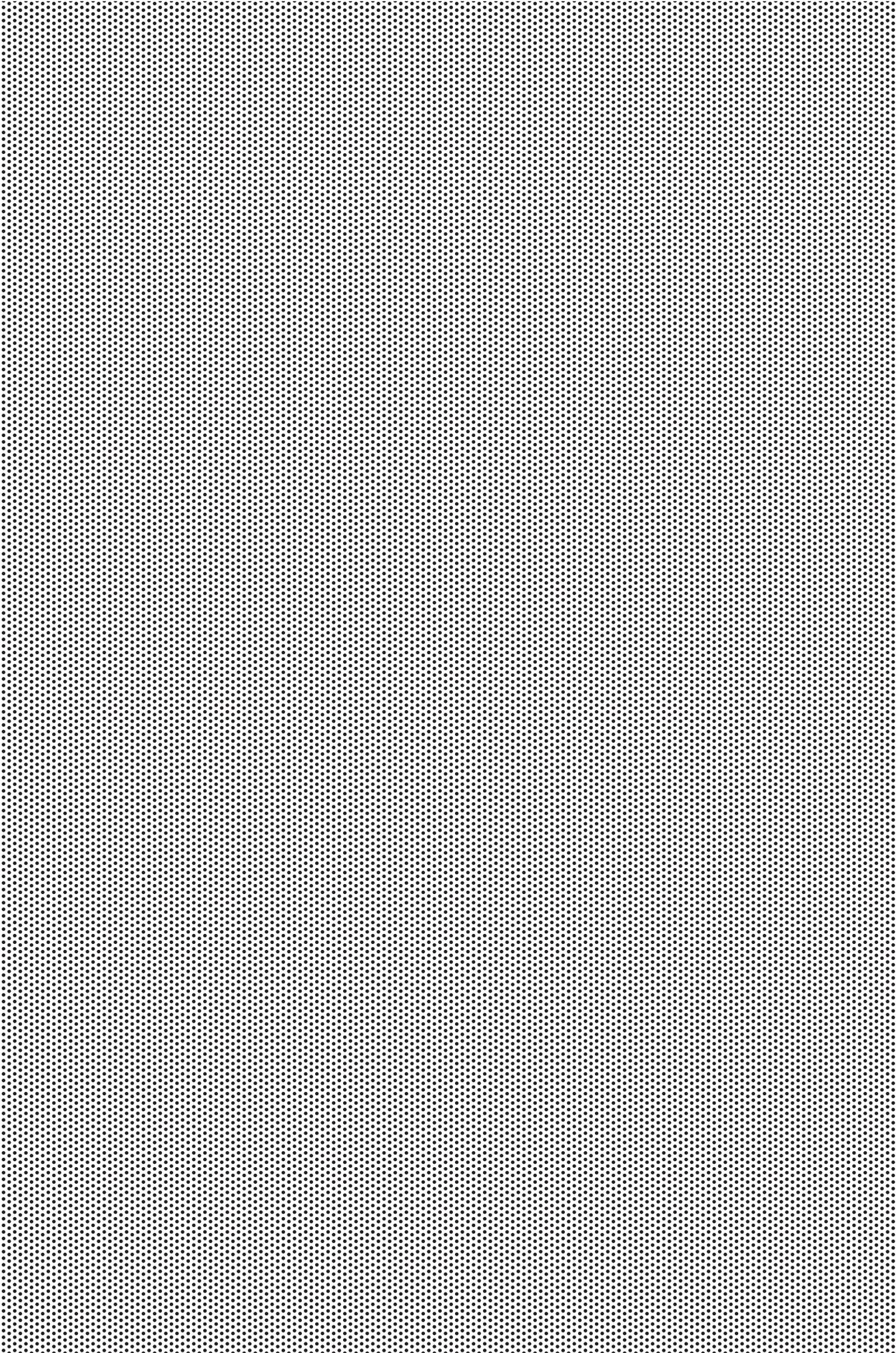
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の○bをマークしてください。

(例)

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

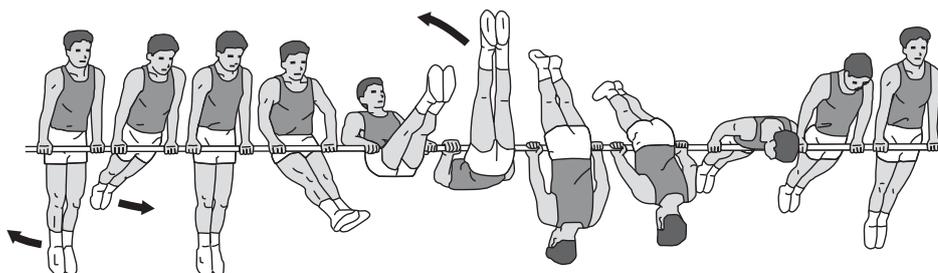
- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



【共通問題】

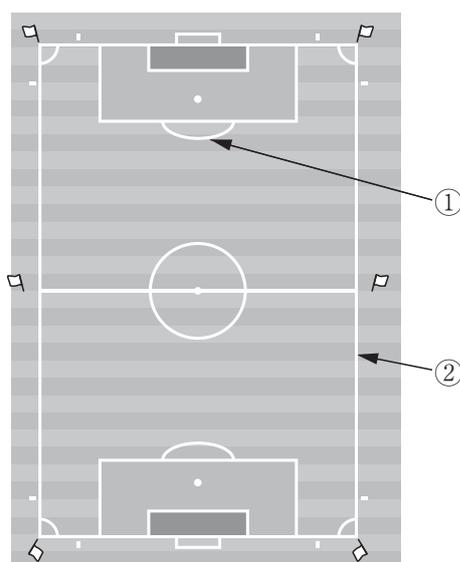
第1問 運動領域及び競技の用語に関して、次の1～7の問いに答えなさい。

- 1 次の図は、器械運動における鉄棒運動の技を模式的に示したものである。該当する技の名称を、下のa～dから一つ選びなさい。



- a け上り
- b 後方浮き支持回転
- c 後方伸びつ支持回転
- d 後方もも掛け回転

- 2 次の図は、サッカーのコートを模式的に示したものである。①・②に該当する名称の正しい組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。



- a ① ペナルティマーク ② タッチライン
- b ① ペナルティアーク ② ゴールライン
- c ① ペナルティマーク ② ゴールライン
- d ① ペナルティアーク ② タッチライン

3 バレーボールの速攻において、「セッターの後ろ，2～3mくらいの距離で，バックトスをスパイクする攻撃」を何というか。次のa～dから一つ選びなさい。

- a Cクイック
- b Aクイック
- c Dクイック
- d Bクイック

4 ソフトテニスにおいて、「相手の前衛の頭上を大きく越えて，コート奥の高い軌道で返球すること」を何というか。次のa～dから一つ選びなさい。

- a ボレー
- b ロビング
- c シュート
- d スマッシュ

5 バドミントンにおいて、「シャトルがネットすれすれの高さでコートと平行に飛ぶフライングの名称」を何というか。次のa～dから一つ選びなさい。

- a ドライブ
- b ドロップ
- c ヘアピン
- d ハイクリアー

6 バスケットボールにおいて、「チームとしてそれぞれが守る地域を決め，ボールを主体に守る戦術」のことを何というか。次のa～dから一つ選びなさい。

- a マンツーマンディフェンス
- b スクリーンプレイ
- c ゾーンディフェンス
- d ポストプレイ

7 柔道において、「『取』は『受』の頭の方に位置し、『受』の上体の上にふせて体を乗せる。両腕を『受』の肩先外側より入れて両横帯を握り腕を制し、両脚を大きく開き胸で『受』の頭、胸を圧して抑える技」を何というか。次の a～d から一つ選びなさい。

キ

- a けさ固め
- b 縦四方固め
- c 横四方固め
- d 上四方固め

第2問 競技に関するルールについて、次の1～5の問いに答えなさい。(なお、各競技種目の競技規則・ルールは令和3年5月1日現在のものとする。)

1 競泳競技の「個人メドレー」の泳法順として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 背泳ぎ → バタフライ → 平泳ぎ → 自由形
 b バタフライ → 背泳ぎ → 平泳ぎ → 自由形
 c 背泳ぎ → 平泳ぎ → バタフライ → 自由形
 d バタフライ → 平泳ぎ → 背泳ぎ → 自由形

2 次の表は、陸上競技の「走り高跳び」の試技の結果を示したものである。試技者A～Eの順位として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

記録 競技者	1.45m	1.50m	1.55m	1.60m	1.64m	1.68m
A	—	○	×○	××○	××○	×××
B	○	×○	×○	××○	××○	×××
C	○	×○	×○	××○	××○	×××
D	—	×—	○	××○	×○	×××
E	×○	××○	×○	××○	××○	×××

○…成功 ×…無効試技(失敗) — …パス

- a A 1位 B 3位 C 3位 D 2位 E 5位
 b A 1位 B 4位 C 4位 D 2位 E 3位
 c A 2位 B 3位 C 4位 D 1位 E 5位
 d A 2位 B 3位 C 3位 D 1位 E 5位

3 次の文は、卓球の基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 相手のサービスのボールが、相手のコートで1度バウンドした後、ネットに触れて自分のコートに入った場合、1ポイントを得る。
- b 相手コートに1度バウンドしたボールが、相手が打つ前に相手の体やコート、床などに触れた場合、1ポイントを得る。
- c 相手のリターンが自分側コートに触れずにエンドラインを越えた場合、1ポイントを得る。
- d 相手が、エンドラインを越える前のノーバウンドのボールに、ラケットや体で触れた場合、1ポイントを得る。

4 次の文は、ソフトボールの基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 打者が、ホームプレートに足が触れて打った場合、アウトとなる。
- b 投球の際、手は腰の下で、手首は肘よりも体から遠く離れてはいけない。
- c 球審がプレイを告げたら、打者は10秒以内に打撃姿勢をとらなければならない。
- d ウインドミル投法では、腕を2回転させることまで許される。

5 次の文は、剣道の基本的なルールについて述べたものである。正しくないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 自分の竹刀を落とした場合、反則となる。
- b 反則を1回でも犯すと、相手に1本が与えられる。
- c つばぜり合いがこうちゃくしたとき、主審は試合者をその場で分け、ただちに試合を継続させる際に、「分かれ」、「始め」と宣告する。
- d 片足が完全に境界線外に出た場合、反則となる。

第3問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 運動の技能のポイントについて、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、マット運動における「押しつ後転」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ア

- a 転がり始めでは、前屈しながら後方へ倒れる。
- b マットに着く直前に腰を伸ばす(手でマットを支えてもよい)。
- c 腹筋に力を入れ、足を引き寄せ、頭越しに合わせてすばやく前上方に伸ばす。
- d 足をマットに着け、両手で強く押す。

(2) 次の文は、競泳競技における「バタフライ」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～dから一つ選びなさい。イ

- a 手のひらを斜め外向き(45度程度)にして頭の前、肩幅に手先を入水する。
- b 入水後、腕を伸ばし、手のひらを平らにして水を押しさえながら横に開き出し、腕を曲げ始める。
- c 手のひらと前腕で水をかき、左右の手先は胸の下で接近させ、下腹に触れるところまでかき進める。
- d けり下ろし動作は、腰、膝を柔らかく伸ばした脚を、太ももから徐々に足先に力が加わるように力強く打ち、その反動で腰を水面近くに近づける。

(3) 次の文は、バレーボールにおける「アンダーハンドサービス」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～dから一つ選びなさい。ウ

- a ネットに正対し、低く構える。
- b バックスイングで後ろ足に体重を移す。
- c 体重を後ろ足に残したまま、体全体のひねりを使ってスイングする。
- d トスは低く上げる。手で支えているボールをそのまま打つイメージ。

(4) 次の文は、柔道における「後ろ受け身」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次のa～dから一つ選びなさい。エ

- a 尻をかかとの近くに落とす。
- b 足を天井に向ける。
- c あごを突き出して、後ろに倒れる。
- d 手のひらを下にして、腕全体で畳をたたく。

(5) 次の文は、剣道における「中段の構え」の技能ポイントについて述べたものである。内容として適切でないものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 自然体より右足を少し前に出す。
- b 左拳は、下腹部に付け、常に正中線上に置く。
- c 右拳は、つばよりわずかに離して握る。
- d 目の付け方は、相手の目を中心に、身体全体を見る。

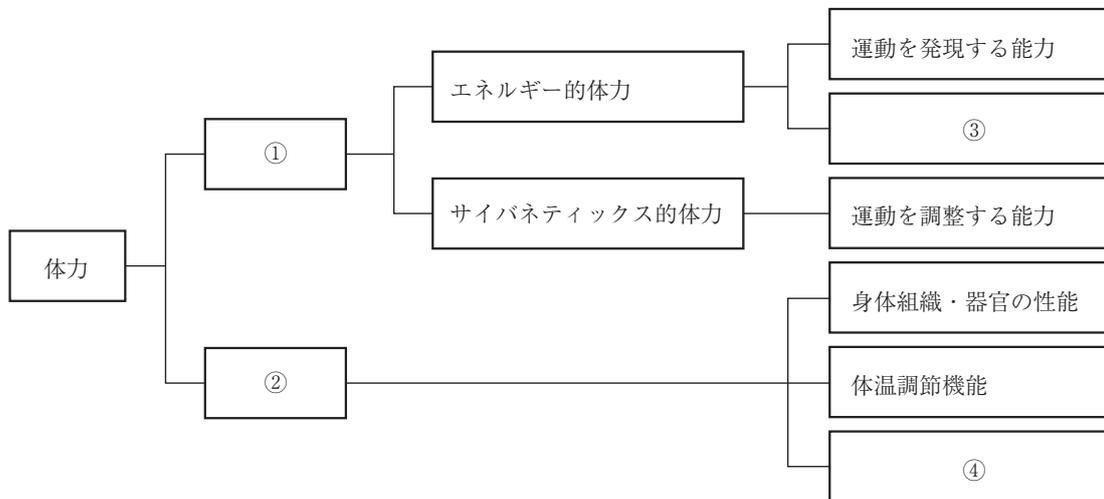
2 体育理論について、次の (1)～(3) の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、日本のスポーツ振興の歩みについて述べたものである。文中の (①)～(③) に該当する最も適切な語句の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。

我が国のスポーツ振興施策としては、1961年に (①) され、スポーツ施設の整備・拡充や体育指導委員の養成などによっていわゆる「社会体育」の振興がはかれることとなった。さらに2000年、国として初めて (②) された。そして、2011年には、新たに (③) された。

- a ① スポーツ振興法が制定 ② スポーツ振興基本計画が策定
③ スポーツ基本法が制定
- b ① スポーツ基本法が制定 ② スポーツ振興法が制定
③ スポーツ振興基本計画が策定
- c ① スポーツ振興法が制定 ② スポーツ基本法が制定
③ スポーツ振興基本計画が策定
- d ① スポーツ基本法が制定 ② スポーツ振興基本計画が策定
③ スポーツ振興法が制定

- (2) 次の図は、体力の構成要素について示したものである。図中の①～④に該当する最も適切な語句の組み合わせを、次の a～d から一つ選びなさい。



- a ① 活動力 ② 生命力 ③ 運動を達成する能力 ④ 病原体に対する抵抗力
 b ① 行動力 ② 生存力 ③ 運動を持続する能力 ④ 環境に対する抵抗力
 c ① 行動力 ② 生存力 ③ 運動を持続する能力 ④ 病原体に対する抵抗力
 d ① 活動力 ② 生命力 ③ 運動を達成する能力 ④ 環境に対する抵抗力

- (3) 次の文は、スポーツの安全な行い方（運動やスポーツでの安全確保）について述べたものである。内容として適切でないものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 運動やスポーツ、あるいはトレーニングには、やりすぎはなく、やればやるほど効果が上がる。
 b 汗で失われた水分を補給しないまま長時間運動を続けると、脱水症状になって体温の上昇をおさえられなくなり、熱中症になる危険性がある。
 c 練習のあとにストレッチングや軽い運動によって、クールダウンをおこなうことは、疲労の回復を早める。
 d スポーツによるけがは、スポーツ種目によって発生の原因に特徴があり、予防する上でも、その種目の特性を知っておくことは大切である。

第4問 保健について、次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の文は、医薬品の正しい使用法について述べたものである。正しくないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 医薬品を服用する場合には、前もって説明書（添付文書）を読む。
- b 服用時間が「食前」と決められている医薬品は、食事をとる前の10分以内に服用する。
- c お茶や牛乳、清涼飲料水で医薬品を服用すると、医薬品の成分によっては化学変化を起こしたり、効果が弱くなったりする。
- d 錠剤やカプセル剤など医薬品の形状を変えて服用すると、効果が低下したり、害になったりすることがある。

2 次の表は、保健行政の組織について示したものである。下線部①～④の記述のうち、正しいものの組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

組織	対象他
一般保健行政	家庭や地域社会の生活を対象とする。市区町村の住民、とくに母子・高齢者・①雇用労働者とその家族などを対象とする。
産業保健行政	職場の生活を対象とする。おもに②自営業者を対象として、その活動が展開されている。
学校保健行政	児童・生徒・学生・③教職員など学校生活を対象とする。学校健康診断や保健教育などが展開されている。
④環境行政	公害対策や環境保全などを総合的に進める。都道府県と市区町村にも担当部門があり、その地域の環境問題を扱う。

- a ①・② b ③・④ c ①・③ d ②・④

3 次の文は、さまざまな生活習慣病について述べたものである。正しくないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 血液中の中性脂肪やLDL（悪玉）コレステロールが過剰な状態、あるいはHDL（善玉）コレステロールが少ない状態の病気を脂質異常症という。
- b 血管の中が狭くなり、その先の心臓の筋肉が酸素不足になって起こる病気を狭心症という。
- c 血液にインスリンの量が異常に多くなり、血管に負担をかけ、さまざまな障害を引き起こす病気を糖尿病という。
- d 歯と歯ぐきの間に歯垢をためたままにすることで、歯垢に含まれる細菌が歯ぐきに感染して、歯ぐきが腫れたり、歯ぐきから出血したりする病気を歯周病という。

4 次の文は、「食生活指針」(文部省・厚生省・農林水産省決定,平成28年6月一部改正)に示されている,健康的な食事をとるためのポイントである。文中の に該当する語句を,下のa~dから一つ選びなさい。

- ・食事を楽しみましょう。
- ・1日の食事のリズムから,健やかな生活リズムを。
- ・適度な運動とバランスのよい食事で,適正体重の維持を。
- ・主食,主菜,副菜を基本に,食事のバランスを。
- ・ごはんなどの穀類をしっかりと。
- ・野菜・果物,牛乳・乳製品,豆類,魚なども組み合わせて。
- ・食塩は控えめに, は質と量を考えて。
- ・日本の食文化や地域の産物を活かし,郷土の味の継承を。
- ・食料資源を大切に,無駄や廃棄の少ない食生活を。
- ・「食」に関する理解を深め,食生活を見直してみよう。

a ビタミン b 糖質 c 脂肪 d タンパク質

【選択問題 中学校】

第5問 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 第7節 保健体育」について、次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「第1 目標」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、 な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (略)
 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、 な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 (3) (略)

- a 健全 b 自主的 c 合理的 d 計画的

- a 実現 b 継続 c 達成 d 持続

- 2 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 D 水泳」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

水泳について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) (略)
 (2) (略)
 (3) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを , ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど こと。

- a 受け入れ b 判定し c 認め d 冷静に受け止め

- a 健康・安全を確保する b 健康・安全に留意する
 c 健康・安全を促進する d 健康・安全に気を配る

- 3 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 E 球技」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

球技について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、 技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。

ア (略)

イ (略)

ウ ベースボール型では、 バット操作と走塁での攻撃、ボール操作と 守備などによって攻防をすること。

- (2) (略)

- (3) (略)

- a 状況に応じた b 初歩的な c 習熟した d 基本的な

- a 標準的な b 安定した c 定位置での d 協力した

- 4 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔保健分野〕 2 内容 (1) ア (オ)」である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

- (オ) 感染症は、 が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、 を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

- a 抗体 b 免疫 c 病原体 d 飛沫

- a 感染経路 b 検疫 c 空気 d 偏見

5 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1) (略)

(2) 言語能力を育成する言語活動を重視し、筋道を立てて練習や作戦について話し合う活動や、個人生活における健康の保持増進や回復について話し合う活動などを通して、 能力や論理的な思考力の育成を促し、 な学習活動の充実を図ること。

a 表現 b コミュニケーション c 言語 d シミュレーション

a 能動的 b 積極的 c 主体的 d 自主的

【選択問題 高等学校】

第5問 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）「第2章 第6節 保健体育」について、次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「第1款 目標」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、 な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) (略)
 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、 な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 (3) (略)

- a より健全 b 自主的, 自立的 c 合理的, 計画的 d より合理的

- a 継続 b 実現 c 達成 d 持続

- 2 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 2 内容 D 水泳」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

水泳について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) (略)
 (2) (略)
 (3) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを , ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど こと。

- a 受け入れ b 判定し c 冷静に受け止め d 認め

- a 健康・安全に気を配る b 健康・安全に留意する
 c 健康・安全を促進する d 健康・安全を確保する

- 3 次の文は、「第2款 各科目 第1 体育 2 内容 E 球技」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

球技について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や 技能で仲間と連携しゲームを展開すること。

ア (略)

イ (略)

- ウ ベースボール型では、 バット操作と走塁での攻撃、 ボール操作と 守備などによって攻防をすること。

(2) (略)

(3) (略)

- a 動作の基本的な b ゲームに連動した c 動作に習熟した
d 状況に応じた

- a 習熟した b 洗練した c 安定した d 連携した

- 4 次の文は、「第2款 各科目 第2 保健 2 内容 (1) ア (イ) 現代の感染症とその予防」である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(イ) 現代の感染症とその予防

感染症の発生や流行には、時代や によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び を行う必要があること。

- a 時間 b 社会体制 c 地域 d 環境

- a 社会的な対策 b 隔離 c 行動自粛 d 検疫

5 次の文は、「第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 2」の一部である。文中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 言語能力を育成する言語活動を重視し、筋道を立てて練習や作戦について話し合ったり身振りや身体を使って動きの修正を図ったりする活動や、個人及び社会生活における健康の保持増進や回復について話し合う活動などを通して、 能力や論理的な思考力の育成を促し、 な学習活動の充実を図ること。

a 言語 b コミュニケーション c 表現 d シミュレーション

a 積極的 b 自主的 c 能動的 d 主体的

【選択問題 特別支援学校】

第5問

- 1 特別支援学校の対象となる障害の程度は、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3で、次の表のとおり定められている。それぞれの障害の程度について、～に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="ア"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="イ"/> デシベル以上のもので、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達が遅延があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達遅延の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="ウ"/> への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における <input type="text" value="エ"/> が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの

a 0.1 b 0.2 c 0.3 d 0.4

a 50 b 60 c 70 d 80

a 家庭生活 b 学校生活 c 社会生活
d 職業生活

a 連続的な動作 b 初歩的な動作 c 基本的な動作
d 目的的な動作

a 生活規制 b 運動規制 c 生活の管理
d 体調の管理

- 2 次の文は、中央教育審議会（答申）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(4) 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

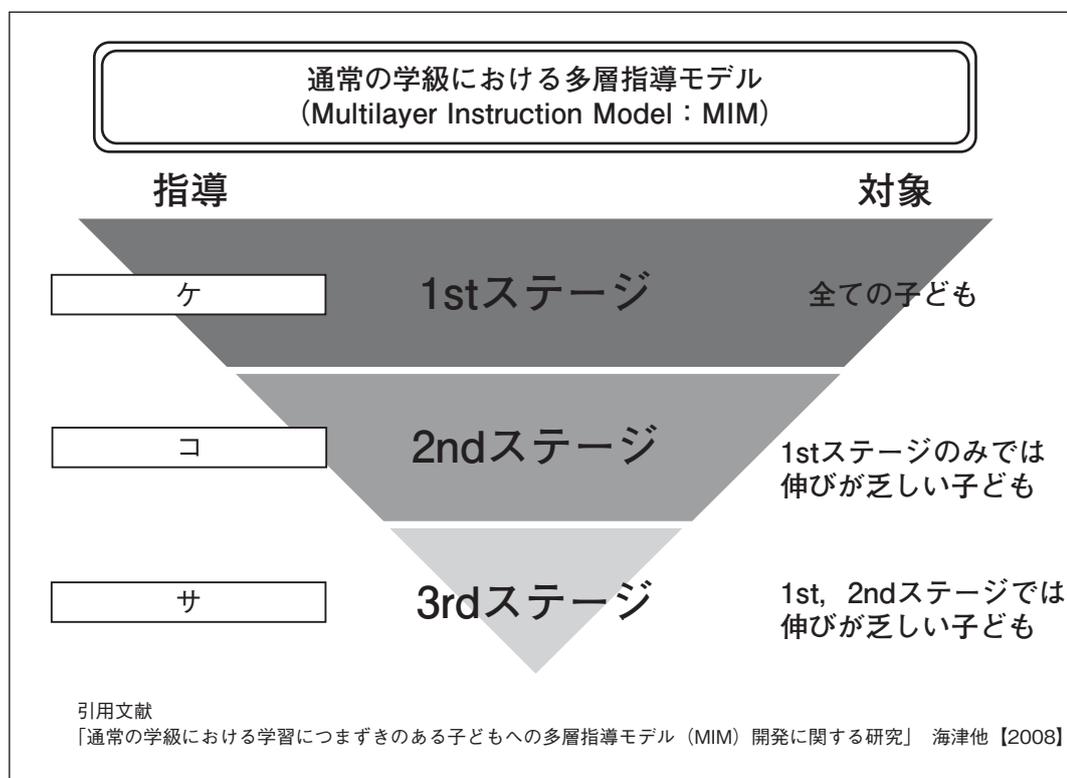
○特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。そのため、早期からのキャリア教育では、保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や、 を高める経験、産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから、その実施に当たっては、地域の 関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

a 家庭 b 福祉 c 社会 d 企業

a 倫理観 b 自己肯定感 c 生活能力 d メタ認知能力

a 医療 b 就労 c 保健 d 福祉

- 3 高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』（平成25年3月）において，次の図は，通常の学級における多層指導モデルとして示されている。図の ～ に当てはまる語句を，下の a ～ d から一つずつ選びなさい。



- a 通常の学級内での補足的な指導
- b 補足的・集中的・柔軟な形態によるサービスの指導
- c 通常の学級内での効果的な指導
- d 補足的・集中的・柔軟な形態による特化した指導

